

12. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細  
 (1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計	
平成18年度	544,430,023	-	544,430,023	0	0	544,430,023	0
平成19年度	-	49,848,162,000	48,225,459,556	231,640,647	0	48,457,100,203	1,391,061,797
計	544,430,023	49,848,162,000	48,769,889,579	231,640,647	0	49,001,530,226	1,391,061,797

## (2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

平成18年度交付分

(単位：円)

区 分	金 額	内 訳
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	544,430,023
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	544,430,023
期間進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
費用進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0
	資産見返運営費交付金	0
	資本剰余金	0
	計	0
会計基準第80第3項による振替額	0	
合計	544,430,023	

1. 業務達成基準を採用した業務：診療業務、教育研修業務、臨床研究業務、その他  
2. 当該業務に関する損益等  
(1) 損益計算書に計上した費用の額：544,430,023円  
ア. 診療業務 0円  
イ. 教育研修業務 0円  
ウ. 臨床研究業務 0円  
エ. その他 544,430,023円  
【 医療廃棄物等処理費用 544,430,023円 】  
(2) 固定資産の取得額：0円  
ア. 診療業務 0円  
イ. 教育研修業務 0円  
ウ. 臨床研究業務 0円  
エ. その他 0円  
3. 運営費交付金収益化額の積算根拠  
年度計画の予定どおりに遂行した業務について、各業務に当てられる運営費交付金の計画額を収益化

— (期間進行基準を採用した業務は無い)

— (費用進行基準を採用した業務は無い)

平成19年度交付分

(単位：円)

区 分	金 額	内 訳
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	48,225,459,556
	資産見返運営費交付金	231,640,647
	資本剰余金	0
	計	48,457,100,203
期間進行基準 による振替額	0	— (期間進行基準を採用した業務は無い)
費用進行基準 による振替額	0	— (費用進行基準を採用した業務は無い)
会計基準第80第3項による振替額	0	
合計	48,457,100,203	

1. 業務達成基準を採用した業務：診療業務、教育研修業務、臨床研究業務、その他  
 2. 当該業務に関する損益等  
 (1) 損益計算書に計上した費用の額：48,225,459,556円  
 ア. 診療業務 5,526,361,144円  
 (内訳) 結核医療経費 2,362,805,270円  
 小児救急医療経費 570,052,190円  
 総合周産期母子医療経費 206,876,250円  
 三次救急医療経費 553,125,000円  
 精神科救急医療経費 113,910,360円  
 精神医療経費 562,008,750円  
 臨床研修経費 850,700,000円  
 災害医療経費 295,826,278円  
 障害者自立支援経費 1,485,637円  
 医師派遣経費 9,571,409円  
 イ. 教育研修業務 17,200,000円  
 (内訳) 国際医療協力経費 17,200,000円  
 ウ. 臨床研究業務 4,663,965,353円  
 (内訳) 臨床研究センター運営経費 826,436,981円  
 臨床研究部運営経費 1,715,998,372円  
 研究費 2,121,530,000円  
 エ. その他 38,017,933,059円  
 (内訳) 退職手当(国勤務期間分) 20,143,110,308円  
 整理資産 17,257,482,000円  
 恩給負担金 67,553,000円  
 医療廃棄物等処理費用 549,787,751円  
 (2) 固定資産の取得額：231,640,647円  
 ア. 診療業務 0円  
 イ. 教育研修業務 0円  
 ウ. 臨床研究業務 231,640,647円  
 エ. その他 0円  
 3. 運営費交付金収益化額の積算根拠  
 年度計画の予定どおりに遂行した業務について、各業務に当てられる運営費  
 交付金の計画額を収益化

## (3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位：円)

交付年度	運営費交付金債務残高			残高の発生理由及び収益化等の計画
	区分	業務等区分	金額	
平成19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	診療業務	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ その他の業務のうち、国の期間に係る退職手当について、計画に対し、退職者が少なかったため、運営費交付金債務として翌事業年度へ繰越したもの。</li> <li>○ その他の業務のうち、医療廃棄物等処理業務について、計画に対し、工期延長等の業務の遅延等が発生したため、運営費交付金債務として翌事業年度に繰越したもの。</li> <li>○ 退職手当、医療廃棄物等処理業務のいずれについても、翌事業年度において計画どおりの成果を達成できる見込みであり、翌事業年度において収益化する予定である。</li> </ul>
		教育研修業務	0	
		臨床研究業務	0	
		その他	1,391,061,797	
	小計	1,391,061,797		
	期間進行基準を採用した業務に係る分	-	0	- (期間進行基準を採用した業務は無い)
	費用進行基準を採用した業務に係る分	-	0	- (費用進行基準を採用した業務は無い)
	計		1,391,061,797	